【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和6年11月19日(2024.11.19)

【国際公開番号】WO2023/167225
【出願番号】特願2024-504715(P2024-504715)
【国際特許分類】
*H04W 72/0446(2023.01)*
*H04W 4/70(2018.01)*
*H04W 52/02(2009.01)*
*H04W 72/12(2023.01)*
*H04W 72/11(2023.01)*
【FI】
H04W 72/0446
H04W 4/70
H04W 52/02 111
H04W 72/12
H04W 72/11

【手続補正書】
【提出日】令和6年9月2日(2024.9.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
無線通信システムにおける通信制御方法であって、
環境発電により発電する電源を有するユーザ装置が、ネットワークノードとの通信が可能な時間を示す通信プロファイル情報を前記ネットワークノードへ送信することと、
前記ネットワークノードが、前記通信プロファイル情報に基づいて、前記ユーザ装置と前記通信を行うことと、を有する
通信制御方法。
【請求項２】
前記通信プロファイル情報は、前記ユーザ装置が通信終了後、次に通信が可能になるまでの時間を表す通信可能時間、及び前記ユーザ装置が１回の通信で持続可能な通信時間を表す持続可能時間のうち少なくともいずれかである、
請求項１記載の通信制御方法。
【請求項３】
前記通信プロファイル情報は、前記通信プロファイル情報毎に識別子により表される、
請求項１記載の通信制御方法。
【請求項４】
無線通信システムにおけるユーザ装置であって、
環境発電により発電する電源と、
ネットワークノードとの通信が可能な時間を示す通信プロファイル情報を前記ネットワークノードへ送信する送信部と、
前記通信プロファイル情報に基づいて、前記ネットワークノートと前記通信を行う制御部と、を有する
ユーザ装置。

【請求項５】
　無線通信システムにおける通信制御方法であって、
ネットワークノードが、ランダムアクセス手順を行うことなく通信が可能な無線リソースに関する情報を、環境発電により発電する電源を有するユーザ装置へ送信することと、
　前記ユーザ装置が、前記ネットワークノードからの受信信号の受信電力が判定用ＲＳＲＰ閾値以上のとき、前記ランダムアクセス手順を行うことなく前記無線リソースを用いて前記ネットワークノードと前記通信を行うことと、を有する
　通信制御方法。
【請求項６】
　前記通信を行うことは、前記ユーザ装置がタイミングアドバンス値を「０」にすることを含む、
　請求項５記載の通信制御方法。
【請求項７】
　無線通信システムにおけるユーザ装置であって、
　環境発電により発電する電源と、
　ランダムアクセス手順を行うことなく通信が可能な無線リソースに関する情報を、ネットワークノードから受信する受信部と、
　前記ネットワークノードからの受信信号の受信電力が判定用ＲＳＲＰ閾値以上のとき、前記ランダムアクセス手順を行うことなく前記無線リソースを用いて前記ネットワークノードと前記通信を行う制御部と、を有する
　ユーザ装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４９】
　制御プレーンの無線インターフェイスのプロトコルスタックは、図５に示したＳＤＡＰレイヤに代えて、ＲＲＣ（Ｒａｄｉｏ　Ｒｅｓｏｕｒｃｅ　Ｃｏｎｔｒｏｌ）レイヤ及びＮＡＳ（Ｎｏｎ－Ａｃｃｅｓｓ　Ｓｔｒａｔｕｍ）レイヤを有する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８５】
　そのため、ＰＩＯＴ　ＵＥ１００は、ｇＮＢ２００との通信が可能な時間をｇＮＢ２００へ送信する。具体的には、第１に、環境発電により発電する電源（例えば、電源１５０）を有するユーザ装置（例えば、ＰＩＯＴ　ＵＥ１００）が、基地局（例えば、ｇＮＢ２００）との通信が可能な時間を示す通信プロファイル情報を基地局へ送信する。第２に、基地局が、通信プロファイル情報に基づいて、ユーザ装置と通信を行う。